

新型コロナウイルスワクチンについて

ファイザー社ワクチンの供給量の見通しについて

ファイザー社ワクチン第13クール～第15クールの配分の考え方

- 各都道府県12歳以上人口の**8割**に2回接種可能な必要量を第15クールまでに配分
→これまでのファイザー社ワクチン供給量やモデルナ社ワクチンの接種実績等に基づき算定される

今後の三重県への供給量

8/30の週

9/6の週

9/13の週

9/20の週

9/27の週

10/4の週

第13クール

134箱

第14クール

134箱+a

第14クール及び第15クールについては全国で300万回程度（約2,560箱）の調整枠あり

第15クール

134箱+a

※134箱=156,780回分

新型コロナウイルスワクチン接種状況について（高齢者）

全国 > 三重県

2021年08月09日時点

[全国へ戻る](#)

概要

人口	529,547
接種数	908,314
1回目接種数	469,768
1回目接種率	88.71%
2回目接種数	438,546
2回目接種率	82.82%

年代

- すべて
- 65歳以上

性別

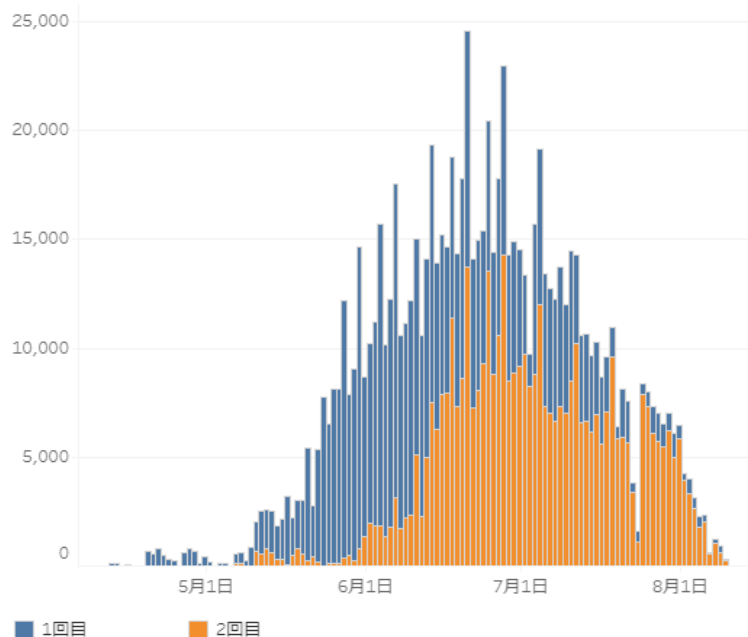
- すべて
- 男性
- 女性

都道府県

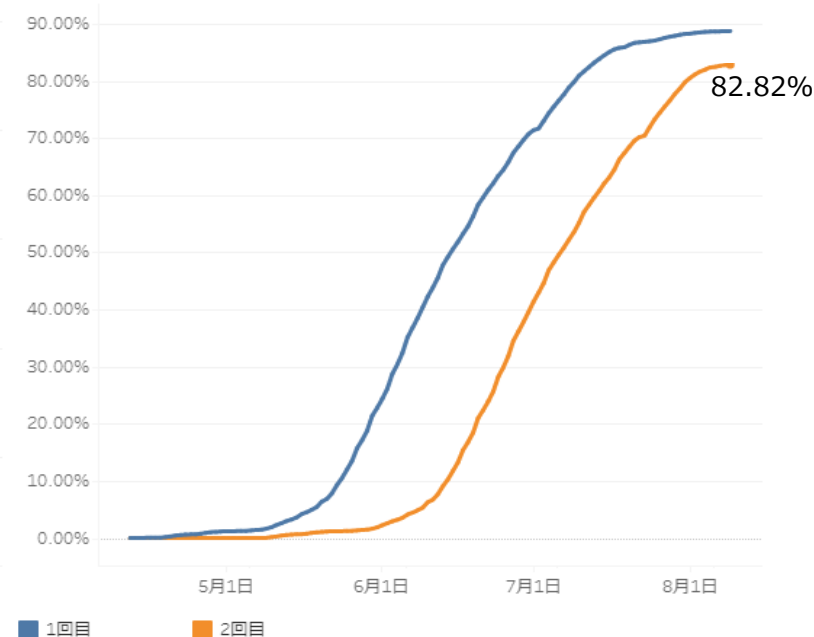
三重県

【参考】全国平均
1回目：87.63%
2回目：81.60%

接種数日次推移



接種率日次推移



新型コロナウイルスワクチン接種状況について（全年代）

全国 > 三重県

2021年08月09日時点

[全国へ戻る](#)

概要

人口	1,813,651
接種数	1,255,518
1回目接種数	705,134
1回目接種率	38.88%
2回目接種数	550,384
2回目接種率	30.35%

年代

- すべて
- 65歳以上

性別

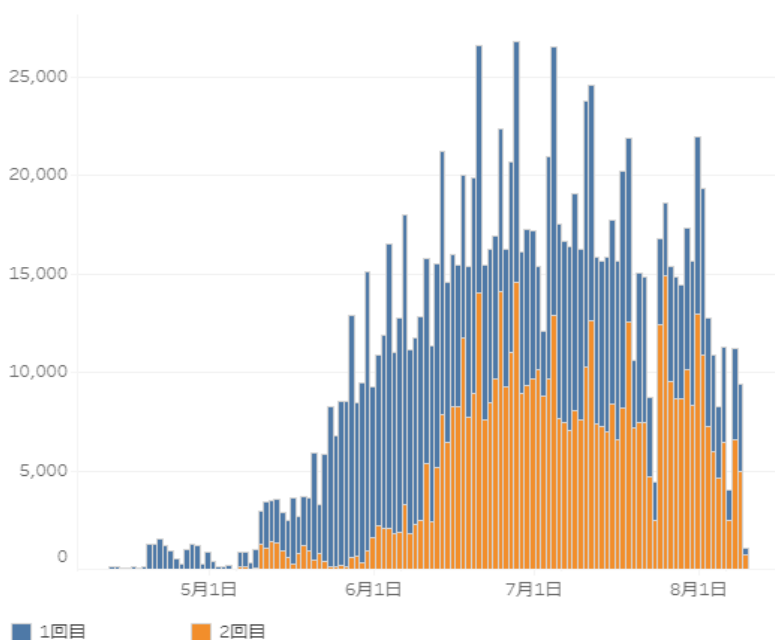
- すべて
- 男性
- 女性

都道府県

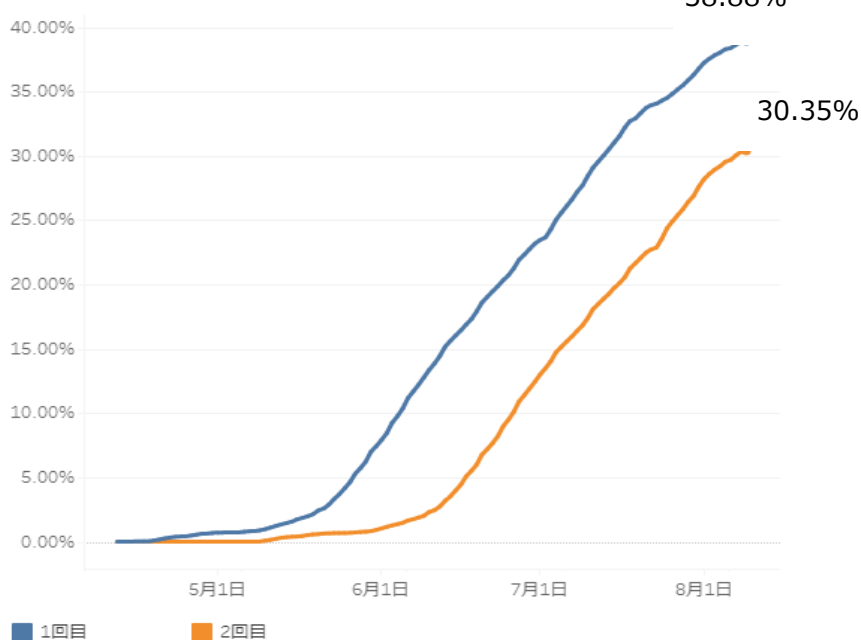
三重県

【参考】全国平均
1回目：38.26%
2回目：28.60%

接種数日次推移

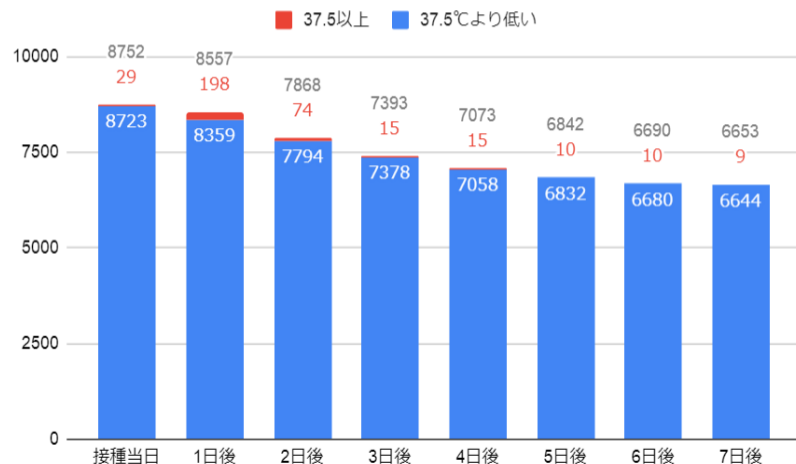


接種率日次推移

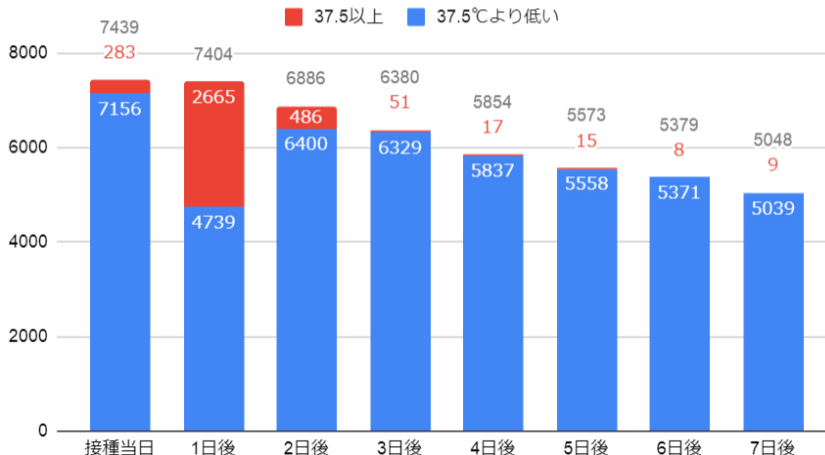


新型コロナウイルス感染症ワクチン安全性調査（COV-Safe）の状況

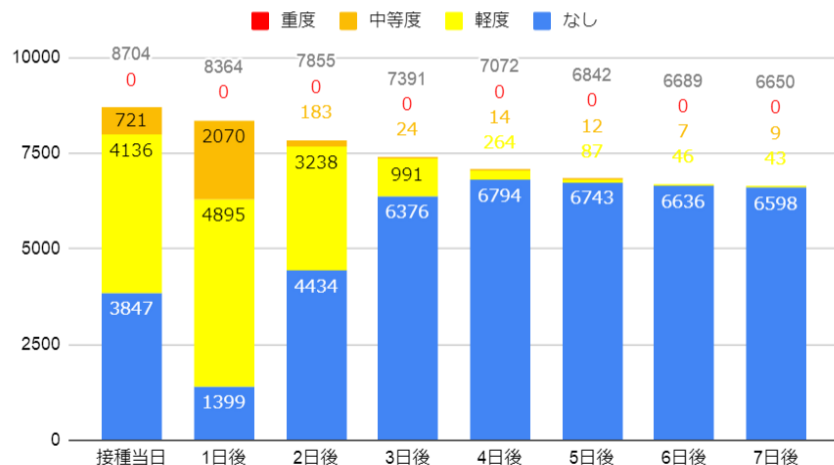
体温①（1回目接種時）



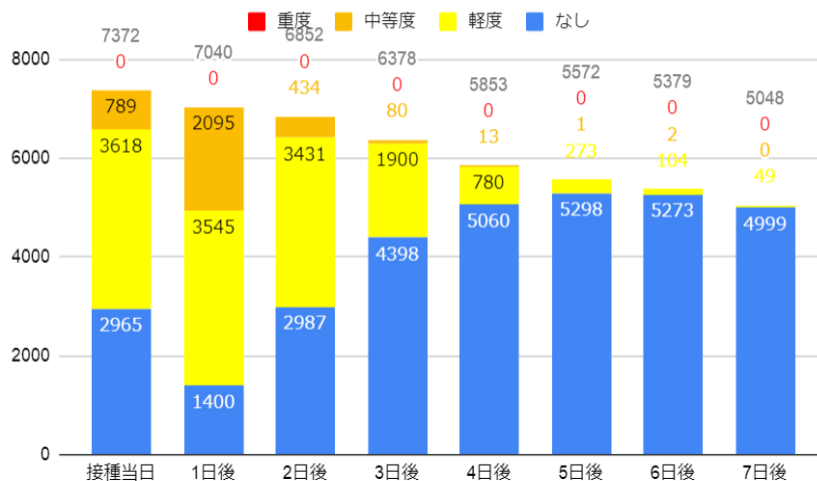
体温②（2回目接種時）



接種部位の疼痛（痛み）①（1回目接種時）



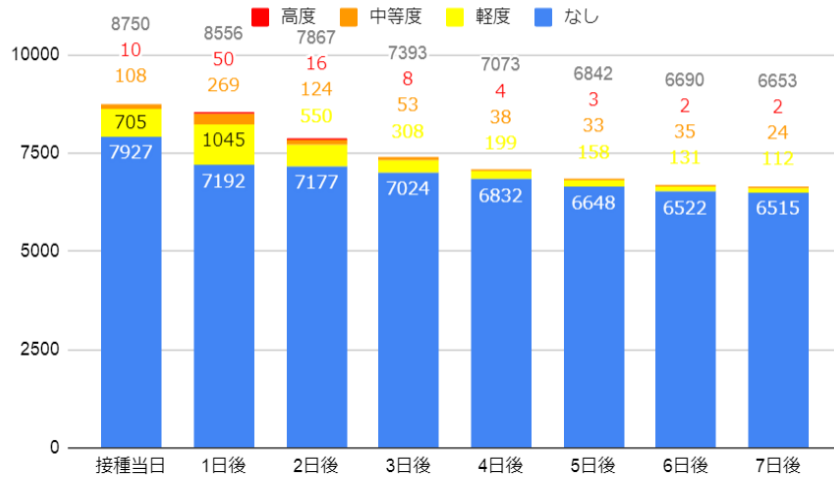
接種部位の疼痛（痛み）②（2回目接種時）



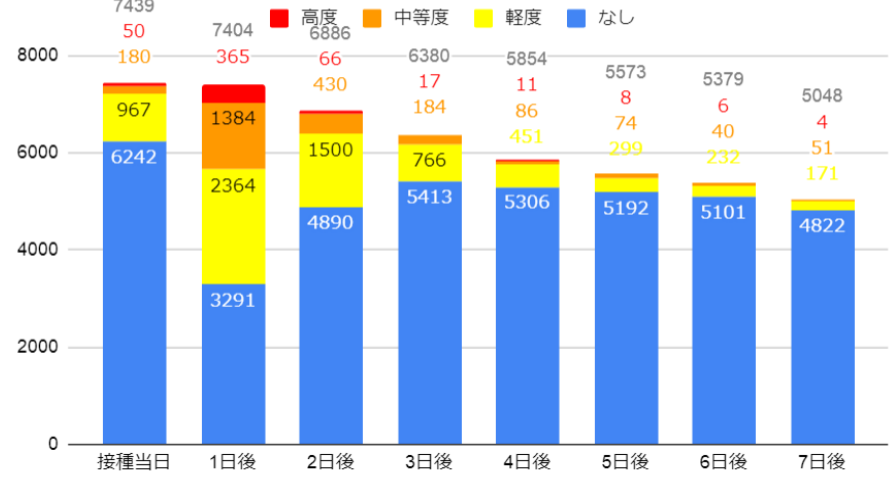
(出典) 新型コロナウイルス感染症ワクチン安全性調査（COV-Safe）(令和3年8月10日)
<https://sites.google.com/view/cov-safe/>

新型コロナウイルス感染症ワクチン安全性調査 (COV-Safe) の状況

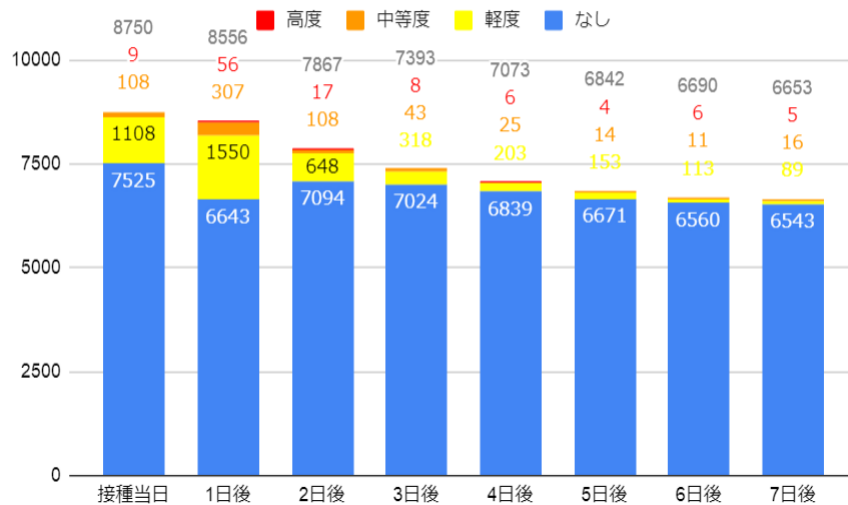
頭痛 (頭が痛い) ① (1回目接種時)



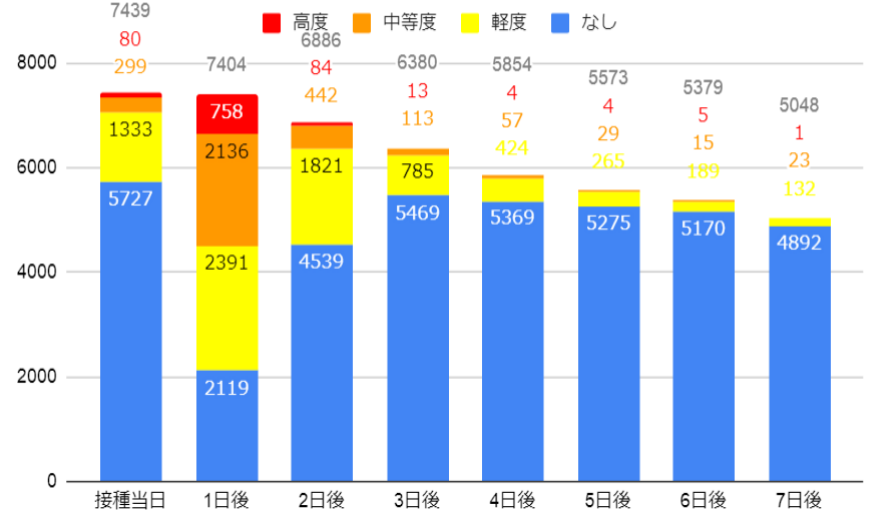
頭痛 (頭が痛い) ② (2回目接種時)



倦怠感 (だるい) ① (1回目接種時)



倦怠感 (だるい) ② (2回目接種時)



(出典) 新型コロナウイルス感染症ワクチン安全性調査 (COV-Safe)(令和3年8月10日)
<https://sites.google.com/view/cov-safe/>

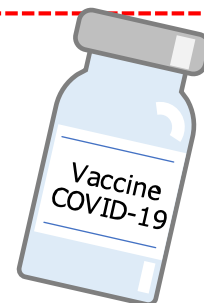
新型コロナウイルスワクチン副反応相談窓口

電話番号

☎ 0 5 9 - 2 2 4 - 3 3 2 6

開設日など

- ・開設日 : 令和3年8月2日(月) 午前9時から
- ・受付時間 : 24時間対応(土曜日・日曜日・祝日含む)
- ・受付内容 : ワクチン接種前後の副反応に関する質問や相談など



対応言語

日本語	英語 (English)
中国語 (中文)	韓国語 (한국어)
ポルトガル語 (Português)	スペイン語 (Español)



コロナワクチン接種推進にかかる県の取組

外国人支援・啓発関連

- 「みえ外国人コロナワクチン相談ダイヤル」を拡充、予約支援機能を追加（11言語）
- 外国人住民の予約等の支援の広報（ポスター・チラシの配布、Facebookによる情報発信）

若者への周知・啓発について

- 「みんなつく予算」（県民からの提案を事業化）により若年層をターゲットとした動画を作成
- SNSやホームページにより周知啓発

小児（12歳～15歳）への接種について

- 小児へワクチン接種を行う際の利点・注意点を本人と養育者が十分に理解できるよう、きめ細かな対応を行うことの重要性等について、県医師会・県小児科医会・三重県の連名で各郡市医師会・各市町あて通知（令和3年7月21日付）

【利点】

- ・16歳以上の約4万人を対象とした海外の研究では、95%の発症予防効果が報告されていること。
- ・海外の研究結果から、感染予防の効果が認められていること。
- ・重篤な基礎疾患のある小児への接種により、新型コロナ感染症の重症化を予防できると認められること。

【注意点】

- ・接種後の痛みなどの局所的副反応や発熱・倦怠感などの全身的副反応が、高齢者に比べて、年齢の若い方により多く発現していること。
- ・接種時の緊張などからくる、この年齢特有の接種直後の反応に留意する必要があること。
- ・接種後、数日以降の副反応（心筋炎・心膜炎等）に留意する必要があること。

アストラゼネカ社ワクチンの接種・流通体制の基本コンセプト

対象者全体	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として40歳以上 ・個別事案（mRNAワクチンに使用されている含有成分にアレルギーがある場合、既にAZで1回接種済み等）により、18歳以上40歳未満の者も接種可能
用法	4～12週間隔（最大の効果を得るためには8週以上の間隔）で2回接種
分類	AZワクチン接種センター
各対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・PEGアレルギー等で、mRNAワクチンを接種出来ない者 ・海外で本ワクチンを1回接種済みの日本在住の者 ・その他の接種を希望する者（原則として40歳以上）
実施開始時期	<p>8月下旬～</p> <p>※ 緊急事態宣言対象自治体は、8月中旬～</p>
実施規模	<p>各都道府県に1箇所程度 配布数は各自治体の希望量を踏まえて設定</p> <p>※ 緊急事態宣言対象自治体には優先的に配布 ※ 9月末までで200万回を供給可能</p>
納入量の決定方法	<p>1回目は各自治体の希望量を配送。 その後は2週間に1回、 希望量を把握した上で配分量を国で決定し配送。</p> <p>※ 100回接種分を1単位とする。</p>
物流担当	ワクチン・針・シリンジをセットで地域担当卸が配送 (地域担当卸には東西物流センターから配送)

【緊急事態宣言対象自治体】
埼玉県・千葉県・東京都
神奈川県・大阪府・沖縄県

AZワクチンの配分等について

ワクチンの配分

- 9月末までに供給可能なAZワクチンは、200万回分です。
- 9月末までの配分は、基本的に2回目接種分を含めた量として配分します。
- 初回の都道府県への配分量については、9月末までの配分量として、1,000回を上限として、納入希望量を踏まえ、決定します。
- 緊急事態宣言の対象の都道府県については、9月末までの配分量として、以下の回数を限度として、納入希望量を踏まえ決定します。
埼玉県：258,700回 千葉県：305,600回 東京都：579,500回 神奈川県：390,600回
大阪府：357,900回 沖縄県：58,000回
- 配送は2週間ごとに行う予定です。
- AZワクチンは、小分け配送ができません。
- 10月以降に2回目接種分の配分を希望する場合の手続きについては、追ってお示しします。

1都1府4県で195万3千回

針・シリンジの配送

- 国から配布する針・シリンジの配分量は、原則、ワクチンの配分量に応じて決定します。
※ 個別の事情により、必要性及び合理性を判断の上、自治体においてこれと異なる針・シリンジを活用することは可能です。この場合は、新型コロナウイルス接種体制確保事業の対象として差し支えありません。
- 配布するシリンジは、原則2mLのものとなります。
- 針・シリンジの納入は地域担当卸を介して行われますので、基本的にはワクチンと同時に納入される予定ですが、必ずしも同時に納入されるものではありません。
- 針・シリンジの納入先及び担当者については、ワクチンと同一とします。

AZワクチンの配分等について

AZワクチンには、他の新型コロナワクチンとは異なる重篤な副反応として、ごくまれに「**血小板減少症を伴う血栓症**」が起こることが知られている

※接種数の多いイギリスでは、1回目接種において100万回あたり14.8件、2回目接種において100万回あたり1.9件と報告

副反応疑い報告基準（予防接種法施行規則等）

- アストラゼネカ社ワクチンの使用にあたり、副反応疑い報告基準の項目に、「**血栓症（血栓塞栓症を含む。）（血小板減少症を伴うものに限る。） 28日**」を追加しました。

症状	期間
アナフィラキシー	4時間
血栓症（血栓塞栓症を含む。）（血小板減少症を伴うものに限る。）	28日
その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	予防接種との関連性が高いと医師が認める期間

【留意事項】

報告基準には入っていないものの、今後評価を行うことが考えられる症状については、「その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの」として、積極的に報告をお願いしたい。

<積極的な報告を検討頂きたい症状>

けいれん、ギラン・バレー症候群、急性散在性脳脊髄炎（ADEM）、血小板減少性紫斑病、血管炎、無菌性髄膜炎、脳炎・脳症、関節炎、脊髄炎、心筋炎、顔面神経麻痺、血管迷走神経反射（失神を伴うもの）